

- ◆ 荒川放水路通水100周年を迎える事を機に、地域住民を始めとする多様な主体が、荒川流域の未来像を考え、流域治水の重要性を広く啓発するとともに、河川と共に育んできた文化について考えるために必要な事業を行うことを目的に、沿川自治体首長等参加のもと「荒川放水路通水100周年記念事業第2回実行委員会」を令和6年1月26日(金)に開催。
- ◆ 百年の想いを振り返り、荒川放水路に関わった全ての人々への感謝と、未来へ向けた取組を沿川2市7区の首長及び東京都、埼玉県と連名で「荒川放水路通水100周年行動宣言」としてとりまとめ、公表するとともに、荒川放水路通水100周年記念事業の概要を公表。

<協議会開催概要>

- ◆ 開催日時：令和6年1月26日(金) 10:00～
- ◆ 開催場所：荒川下流河川事務所 1Fアモアホール
- ◆ 議事：①荒川放水路通水100周年記念事業の概要
②荒川放水路通水100周年記念事業行動宣言
③記念撮影

○荒川放水路通水100周年記念事業の概要



- ・ロゴマーク、キャッチコピー等公表
- ・荒川放水路通水100周年行動宣言
- ・メッセージ動画公表
- ・イベントカレンダー公表
- ・各市区広報誌に記事掲載
- ・パネルリレー展開催
- ・各市区広報ブース設置
- ・るるが荒川放水路発行
- ・荒川知水資料館amoaリニューアル

○記念撮影



※後列左から、埼玉県県土整備部長、川口市副市長、北区長、事務所長、墨田区長、東京都河川部長
前列左から、戸田市長、板橋区長、足立区長、葛飾区長、江戸川区長、江東区長



◆ 出席者

戸田市長	菅原 文仁	川口市長 (代理：副市長)	奥ノ木 信夫
板橋区長	坂本 健	北区長	山田 加奈子
足立区長	近藤 弥生	墨田区長	山本 亨
葛飾区長	青木 克徳	江東区長	大久保 朋果
江戸川区長	斉藤 猛	埼玉県県土整備部長	金子 勉
東京都建設局長 (代理：河川部長)	斉藤 有	事務所長	出口 桂輔

○荒川放水路通水100周年記念事業行動宣言

荒川放水路通水100周年行動宣言

荒川下流部は、大正13年（1924年）10月12日に通水式を実施してから100年となる、人工の河川「荒川放水路」です。

荒川放水路によって結ばれた運命共同体である私たちは、これまでに荒川放水路に関わった全ての人々への感謝の意を表すとともに、これからも安心して暮らしていける強靱で持続可能な地域としてより良い形で将来に引き継いでいくことを目指して、「荒川放水路通水100周年行動宣言」を次のとおり宣言します。

（全体）

1. 荒川放水路の歴史、地域の社会資本としての役割を次世代に継承するとともに、今後の地球温暖化、気候変動などの新たな課題に対応する「流域治水」の取組に挑戦します。

（防災・減災、強靱化）

2. 洪水等による被害を可能な限り防止し流域全体の水害リスクを軽減するため、荒川水系河川整備計画等に基づき、計画的かつ着実に流域の治水施設等の整備・老朽化対策を継続するとともに、デジタル技術等を活用した公物管理の高度化による行政サービスの向上や働き方改革に挑戦します。

加えて、地域のまちづくりを担う流域の自治体等と河川管理者が一体となって、まちづくりや避難に関する計画等を踏まえた高規格堤防などの高台まちづくりに挑戦します。

（水辺空間・自然環境）

3. 大都市に残る貴重なオープンスペースを、全ての河川利用者に愛される空間として次世代に引き継いでいくため、荒川将来像計画等に基づき、魅力ある水辺整備や良好な自然環境の創出などによる水辺の拠点づくり、緊急用河川敷道路・船着場等を活用した拠点間を繋ぐネットワークづくりに挑戦します。

（危機管理）

4. 発生が懸念される大規模水害や首都直下地震に備え、荒川流域水防災流域タイムラインや荒川下流防災施設活用計画等に基づき、流域の自治体・警察・消防・自衛隊・海上保安庁・ライフライン事業者等との災害時の連携協働体制を強化し、円滑な防災・避難行動等の実現に向けた取組に挑戦します。

（地域間交流）

5. 荒川放水路をはじめとした水で繋がる地域間での公公・公民・民民連携を推進し、水の繋がりを通じた相互理解・相互応援の関係づくり、流域一体となった地域づくりに挑戦します。

令和6年1月26日

荒川放水路通水100周年記念事業実行委員会



戸田市長

菅原文仁

川口市長

奥、木信夫

板橋区長

坂本 健

北区長

山田加奈子

足立区長

近藤 弥生

葛飾区長

青木 克徳

墨田区長

山本 亨

江戸川区長

斉藤 猛

江東区長

大久保 朋果

埼玉県県土整備部長

金子 勉

東京都建設局長

中島 尚志

荒川下流河川事務所長

出口 桂輔